

2 工 藝 部

2.1 業務概要

○ 垂水1号土と3号土を配合した透光性磁器を前後数回試験の結果利用価値を認める6種を得たので陰陽彫り電気の傘を試作して自信を得た。

○ 苗代川黒釉の原料は地元の朝日トンネル近くから出ているバン10と土灰3.5の至つて簡単な泥漿配合である美しい苗代川黒が生れていたがそのバンは取りつくされ跡を絶っているこの旧バンに代るべき神之川バンの試験研究をした。

○ 竜門司の土瓶と茶碗の改良を目的に種々図案を描き頒布して試作指導に努めた結果良好な成績をおさめた。

○ 小、中、高校より染焼用築爐。焼成。成形。釉薬並に風焰式単独窯。機械ロクロ据付等の設計図依頼があつたので作成の上送附した。

上記調合物は夫々粉碎して80メツシの篩に通し更に水ひの時は120メツシの篩を使用した。

尚上記素焼試作品に石灰石19。磁石25。長石43。蛙目13の透明釉を施しS.K.9~10番酸化焼成を行つた。

2.2.2 題目 神ノ川ばんに真幸土と前田酸化鉄と配合した釉の試験

寺尾作次郎

〔目的〕朝日トンネルの近くに出ているバン（粘料）が取りつくされたため現在黒釉を作ることに困難を生じているよつて旧バンに代るべき試験。

番号 成分 及び結果	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
神ノ川バン	100	100	100	100	30	40
真幸黄土					40	40
前田酸化鉄		05	10	15		
雑木灰	35	40	40	40	30	20
還元焼成	S.K.9 1,280 °C	同	同	同	同	同
呈色	青ソバ 系	緑黒色	赤褐色	鉄砂系	黒褐色	黒褐色
光沢度(粘)	良	最良	良	良	鈍消状	艶消状
貫入有無	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
品位	乙	甲	甲	甲	甲	甲

上記調合釉を苗代川生地に施し焼成結果ホとへの真幸黄土を30に減し、バンの量を10づつ増加すれば釉の黒色度を深める。

尚ロ、ハ、ニの灰量を30に直せば釉は一層安定する。

次に福島長石30~40雑木灰30靱殻灰40~30の調合靱殻灰釉を上記ホとへの釉上に筒描き又は流し掛けして焼けば雅趣豊かな作品が得られる。

2.2.3 題目 龍門青粉釉の試験

寺尾作次郎

〔目的〕この釉料青粉は竜門司焼工場内に露出する軟質青色磐を粉碎したものでS.K.9番にて完全に熔融し黒褐色の強い光沢を有す来待石や益子の芦沼石によく似ている。

〔概要〕青粉を主とする釉の試験

2.2 試験研究

2.2.1 題目 垂水1号土と3号土調合透光磁器の試験

寺尾作次郎

〔目的〕新しく発見された垂水3号土配合鑄込用泥漿土及びロクロ成形用生地土を得るため

〔概要〕生地調合試験

番号 成分 及び結果	K 1	K 2	K 3	K 4	K 5	K 6
垂水1号土	40	40	30	40	40	30
垂水3号土	30	40	40	30	40	40
指宿ネベ	30	20	30			
土岐口蛙目				30	20	30
成形難易	易	易	易	易	易	易
素焼収縮	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
本焼収縮	1.7%	1.7%	1.7%	1.5%	1.5%	1.5%
呈色	灰乳白 色	灰乳白 色	灰乳白 色	温白色	温白色	温白色
貫入有無	中	中	中	微細白 サツマ に適す	左同 幽に中	同 幽に中
品位	6位	4位	5位	1位	2位	3位
透明度 (器地)	6位	2位	5位	4位	1位	3位